

# 日本計量新報

計測と科学  
毎週日曜日発行  
日本計量新報社  
東京都千代田区神田錦町3-11-8  
(武蔵野ビル)  
〒101-0054 TEL 03-3295-7871  
FAX 03-3295-7874  
http://www.keiryu-keisoku.co.jp/  
振替口座 00140-5-12935  
購読料年間 25,000円(消費税別)

定量計量専用機

## Pack NAVI

速くハカル、  
楽にツメル



Yamato  
大和製衡株式会社 tel:078-918-6577  
http://www.yamato-scale.co.jp/

## 産総研計量標準総合センター(NMIJ)

### 「SI定義改定特設ウェブページ」開設

#### SI基本単位の4つが再定義予定 改定予定単位の最新状況を提供

産業技術総合研究所計量標準総合センター(NMIJ)は、国際単位系(SI)単位の定義改定に関する特設ウェブページを開設した。改定が予定される単位の最新状況を伝えるため、今後順次拡充していく予定。

「SI定義改定特設ウェブページ」のURLは、<https://www.nij-jp/transport.ht>、国際度量衡総会(CGIP)の改定についての決議を採択した。SI基本単位のうち4

つ、キログラム(kg)、アンペア(A)、ケルビン(K)、そしてモル(mol)は物理定数を用いて再定義される。これらの新しい定義は、それぞれプランク定数(h)、電荷素量(e)、ボルツマン定数(k)、そしてアボガドロ定数(N<sub>A</sub>)の確定値にもとづくことになる。

#### 経済産業省 生産動態統計 速報(4月分)

この定義改定が日常生活や従来の計量計測に直ちに影響を与えることはない。ではどのような影響があるのか。決して変わらない物理定数を定義にすることで計量単位の長期的不変性が確保される。また新しい定義による測定器が開発されることで、これまで正確に測

経済産業省は、5月31日、生産動態統計速報(4月分)を発表した。4月生産、前月比、前年同月比の順。  
【計測機器】▽工業用長さ計||50万2822個、6.2%減、1.9%減  
▽ガスメーター||46万8049個、10.4%増、34.1%増  
▽水道メーター||25万2719個、5.9%減、30.5%増  
▽工業用減重機||2166台、26.3%減、4.9%減  
▽圧力計(アナロイド形)||84万5965個、1.8%減、7.4%増  
▽精密測定機(光学測定機を含む)||2万2229台、12.7%減、0.3%増  
▽分析機器||181億9000万円、15.8%減、170.1%増  
▽工業用計測制御機器||82億4500万円、4.5%減、37.1%減、18.7%増  
▽放射線測定器||減、8.5%増

定的に実現する手段として、具体的な実現(現示)方法も規定される。計量計測分野の発展に寄与することが期待されている。

NMIJが開設した本コーナーでは、現在、改定が予定される単位の、次のような最新状況が掲載されている。  
◇はじめに◇国際単位系(SI)の将来の改定に  
ついて◇SI定義改定に関する情報へのリンク  
掲載内容は、順次拡充される予定。

#### 今週の主な記事

- SI基本単位の4つが再定義予定、環境計量講習募集、生産動態統計速報(4月分) ①面
- オーバル谷本洋社長インタビュー③ ②面
- 日計振計連受賞者、川崎計量協会総会ほか③面
- 計量士国家試験問題(4) ④面
- NMS研究報告 2月(3)、3月(1) ⑤面
- 寄稿「中村邦光」(3)下、社説 ⑥面
- 新製品、第25回品質工学研究発表大会紹介 ⑧面

## NMIJ計量研修センター 環境計量講習を募集

募集期間は5月31日～6月30日

NMIJ計量研修センターは、「2017(平成29)年度環境計量講習濃度関係/騒音・振動関係」を対象とした講習を、講習期間(実施回数)は、受講申請者数により判断【濃度関係】第1回7月11日～14日、第2回7月25日～28日、第3回8月1日～4日、第4回8月22日～25日、第5回9月12日～15日、第6回10月3日～6日、第7回10月24日～27日、第8回11月14日～17日、第9回12月5日～8日、騒音・振動関係】第1回9月4日～11月27日、12月1日～11月27日、12月1日



TANITA デジタルスケール TL-280  
見やすいバックライト付大型表示  
¥33,000(税抜)

【受講料】濃度関係9万1100円、騒音・振動関係5万7700円  
【受講定員】濃度関係各回30名、騒音・振動関係各回24名  
【受講申請書提出期間】5月31日～6月30日(最終日前でも定員になり次第受付終了)

【講習内容】環境計量(濃度関係/騒音・振動関係)の国家試験に合格した者、計量法第122条2項1号(登録)および施行規則第51条(登録条件)

15日、第6回10月3日～6日、第7回10月24日～27日、第8回11月14日～17日、第9回12月5日～8日、騒音・振動関係】第1回9月4日～11月27日、12月1日

【試験願書等提出先】国立研究開発法人産業技術総合研究所計量標準普及センター計量研修センター(環境計量講習濃度関係)【問い合わせ先】計量研修センター【電話】029-8611-2423

【試験願書等提出先】国立研究開発法人産業技術総合研究所計量標準普及センター計量研修センター(環境計量講習濃度関係)【問い合わせ先】計量研修センター【電話】029-8611-2423

株式会社 佐藤計量器製作所  
〒105-0001 宮城工場 校正技術課  
〒105-0001 本社 ISO9001 宮城工場

## 高分解能の追求 最小表示1μg

- 無風イオナイザー標準装備 ※特許申請中
- 導電性ガラス風防採用
- フィルター用計量皿標準付属 (BM-20/22のみ)
- クロスライドドア
- USBとRS-232Cの2方式インターフェースを採用

6機種をご用意  
ひょう量: 22g~520g  
最小表示: 0.001mg~0.1mg  
標準価格: ¥320,000~¥800,000(税抜)



### 高精度分析天びん BM シリーズ